

北海道浮魚ニュース

平成 29(2017)年度 22 号

2017 年 10 月 31 日

道総研 水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎サンマ南下期調査結果

27cm 台と 30cm 台がモード

サンマ南下期調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

調査期間：2017 年 10 月 17 日～10 月 25 日

調査海域と調査点（表 1，図 1）：道東および三陸沖太平洋の 11 調査点

調査方法：表中層トロール網による漁獲試験（原則 1 曳網あたり 1 時間）

CTD による海洋観測

調査船：北辰丸（釧路水産試験場）

1. 表面水温（表 1）

サンマが南下すると予想される親潮の分枝先端やその潮境に調査点を設定しました。調査点の表面水温は 12.9～16.9℃の範囲にありました。

2. 漁獲尾数（表 1，図 1）

表中層トロール網による漁獲試験の結果、サンマの総漁獲尾数は 194 尾でした。調査点別に漁獲尾数の状況を見ると、St. 1 が 1 尾、St. 2 が 3 尾、St. 3 が 42 尾、St. 5 が 147 尾、St. 15 が 1 尾で、最も漁獲が多かった St. 5 は親潮第二分枝先端付近でした。また、親潮第一分枝側では漁獲がありませんでした。

3. 体長組成（図 2，図 3）

表中層トロール網で漁獲されたサンマ全体の体長範囲は、24～32cm 台で、30cm 台が最も多く、全体の 26.8%でした。体長組成の特徴は、30cm 台と 27cm 台をモードとする二峰性の組成であり、この特徴は昨年も見られました。（図 3）調査点別に見ると、St. 3 では 25～27cm 主体、St. 5 では 29～31cm 主体となっており、南の調査点（St. 5）の方が、体長の大きいサンマが漁獲されました。

表 1 2017 年サンマ南下期調査の結果

調査点	調査年月日 曳網日	位置		水温(°C)				漁獲尾数			
		北緯	東経	0m	50m	100m	200m	サンマ	マイワシ	カタクチイワシ	サバ類
1	2017/10/17	42-32	145-01	14.6	11.6	8.5	4.7	1	0	0	18
2	2017/10/18	41-58	146-00	13.9	10.2	7.9	4.1	3	0	0	0
3	2017/10/18	41-30	146-11	14.5	10.2	7.8	4.0	42	0	0	0
4	2017/10/19	40-28	146-41	15.8	7.1	2.8	2.4	0	0	0	0
5	2017/10/19	39-55	146-09	15.6	11.8	9.2	5.7	147	0	0	451
8	2017/10/20	40-52	144-29	13.4	7.4	3.0	2.6	0	18	0	5,462
9	2017/10/20	40-44	143-44	13.7	9.7	9.2	2.4	0	9	0	163
12	2017/10/25	41-04	143-18	16.9	14.7	11.3	6.9	0	0	0	0
13	2017/10/25	41-20	143-03	12.9	12.0	10.0	5.1	0	6	0	16
14	2017/10/24	42-13	144-12	14.9	8.7	5.0	3.3	0	0	0	0
15	2017/10/24	42-31	143-58	12.9	12.4	11.0	-	1	0	0	0
								194	33	0	6,110

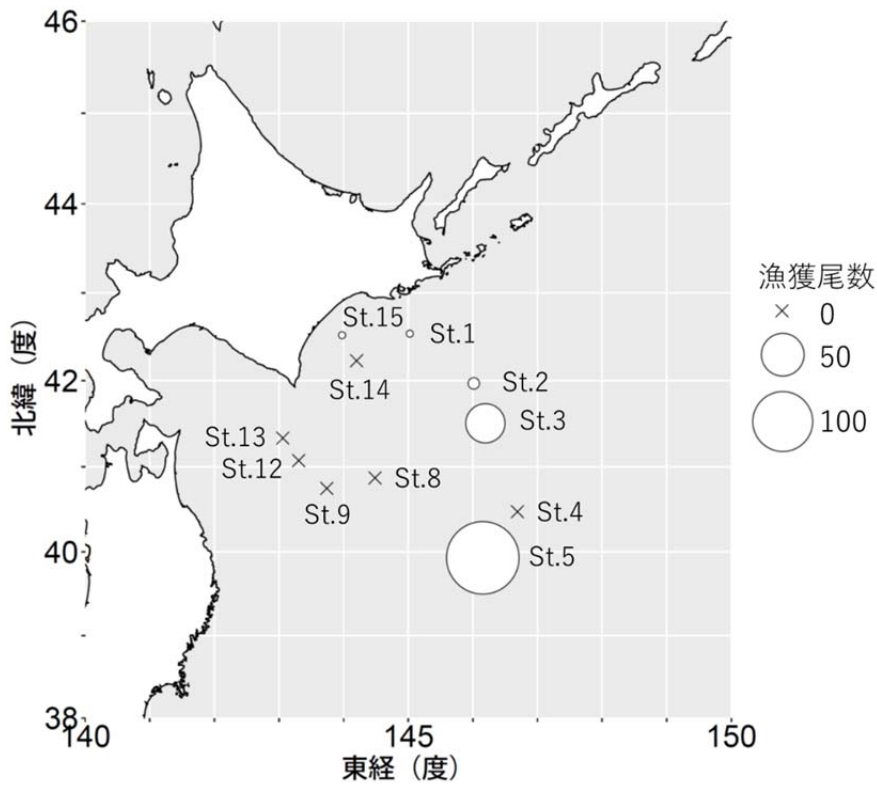


図1 2017年サンマ南下期調査の調査点とサンマ漁獲尾数

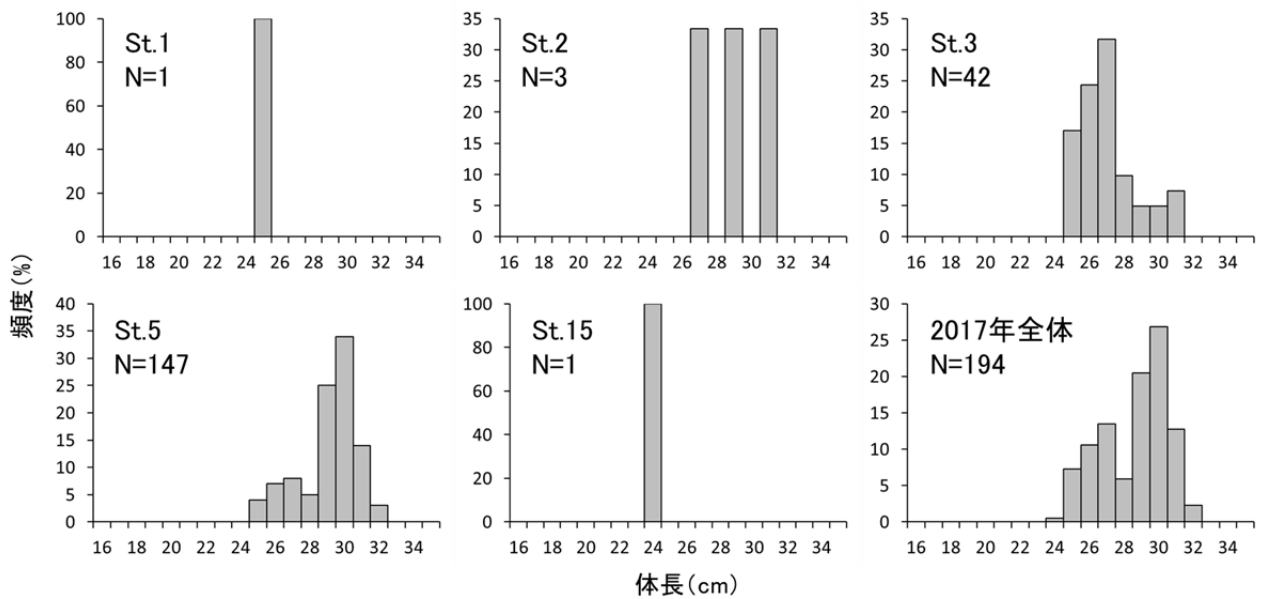


図2 2017年サンマ南下期調査における体長組成 (Nは漁獲尾数)

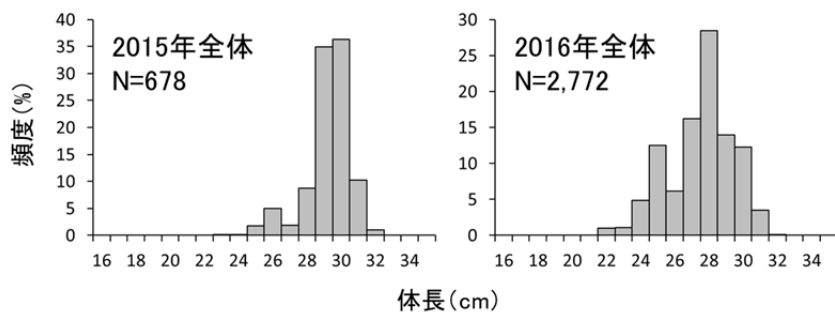


図3 2015年および2016年サンマ南下期調査(表中層トロール)における体長組成
(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)